

# NASCA



## User's Guide

# 目次

1	はじめに	1
2	機能概要	3
3	インストール／アンインストール	4
	インストール	4
	アンインストール	6
4	ユーザー情報管理機能	7
	認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)	7
	認証情報／認証規則の設定	9
	認証デバイスの設定方法	13
	認証ポリシーの設定	18
5	ユーザー認証機能	19
	Windows ログオン認証	19
	ユーザー認証	20
6	Web フォームバンク機能	21
	TPM 認証	21
	Web フォームデータ登録	22
	Web フォームデータ入力補助	27
7	エクスポート／インポート機能	28
	エクスポート	28
	インポート	29
8	Q&A	30

# 1 はじめに

「NASCA」は「NEC Authentication Agent」の略称です。

NASCA は、指紋、FeliCa、USB メモリなど、複数の認証デバイスを使用した高度な個人認証機能で、認証を受けていない人がコンピュータを使うことを防止したり、セキュリティチップを使用した強固なデータ保護をするセキュリティソフトウェアです。

「2 機能概要」、および「3 インストール／アンインストール」を読んだ後に、該当するページをご覧ください。

## ■本マニュアルで使用する記号／用語について

---



チェック

： してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



メモ

： 利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



参照

： マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

TPM	： セキュリティチップを指します。
TPM PIN	： セキュリティチップの基本ユーザーパスワードを指します。
TPM 認証	： セキュリティチップを用いた暗号化に必要な認証を指します。 セキュリティチップの基本ユーザーパスワード(TPM PIN)を入力する必要があります。
Nasca-Admin	： NASCA 管理者を指します。

## ■関連マニュアルについて

---

指紋センサ

→『指紋センサ(ライン型)ユーザーズガイド』

FeliCa

→『FeliCaポートマニュアル』

TPM

→『VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル』の『セキュリティチップ ユーティリティマニュアル』、  
または『Mate/Mate J 電子マニュアル』の『セキュリティチップ ユーティリティマニュアル』

◀ 商標・著作権について ▶

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

## 2 機能概要

NASCA には次の機能があります。

### ■ ユーザー情報管理機能 (p.7)

NASCA で使用する認証デバイスに関する情報や動作上のポリシーを管理します。

#### a) 認証デバイス／認証規則の管理 (管理者用)

各ユーザーの認証で使用可能な認証デバイスや認証規則を管理します。

#### b) 認証情報／認証規則の設定

ユーザーの認証に使用する認証デバイスの情報(認証情報)と 認証デバイスの組み合わせ(認証規則)を設定します。

#### c) 認証ポリシーの設定

ユーザー認証を要求するタイミングを設定します。

### ■ ユーザー認証機能 (p.19)

Windows パスワード以外の認証デバイス(指紋、FeliCa、USB メモリなど)によるデバイス認証機能を提供します。

#### a) Windows ログオン認証

Windows ログオン時にデバイス認証を要求します。

#### b) ユーザー認証

NASCA のユーザー情報管理機能 / Web フォームバンク機能 / エクスポート機能等を使用する際にデバイス認証を要求します。

### ■ Web フォームバンク機能 (p.21)

任意の Web ページでユーザーが入力したデータを保存し、ユーザーの入力処理を補助します。

### ■ エクスポート／インポート機能 (p.28)

ユーザーの認証に関する情報や Web フォームバンクデータをエクスポート／インポートします。

## 3 インストール／アンインストール

### インストール

NASCA を完全／カスタムインストール、または追加インストールする場合は、次の手順を行ってください。



- インストールは必ずコンピュータの管理者権限を持ったユーザー(ユーザー名は半角英数字)でログオンして行ってください。
- TPM が搭載された装置をお使いの場合、インストールを始める前に TPM の初期化を行ってください。
- TPM が搭載されていない装置をお使いの場合は、カスタムインストールを選択し、「Web フォームバンク機能」を選択しないでインストールを行ってください。
- 「ユーザー情報管理機能」「エクスポート／インポート機能」は、完全／カスタムインストールのどちらを選択してもインストールされます。

### ■NASCA 管理者

NASCA をお使いになるには、インストール中に NASCA の管理者(以下、「NASCA 管理者」)を設定する必要があります。

- ユーザー「Nasca-Admin」が NASCA 管理者として新規作成されます。
- NASCA 管理者は、管理者専用の機能 (認証デバイス／規則の管理、ユーザーの初期化)を使用することができます。
- NASCA 管理者は、デバイスを使用した認証機能を使用することができません。



ユーザー「Nasca-Admin」がインストール前から既に存在する場合、このユーザーを管理者として設定します。インストールを行う前に、このユーザーを管理者として設定して良いかどうかを確認してください。ドメインユーザー「Nasca-Admin」が存在する場合、そのユーザーが NASCA 管理者として設定される場合がありますのでご注意ください。

### ■完全インストール、カスタムインストール

初めて NASCA をインストールする場合は、次の手順でインストールを行ってください。

- 1 Windows を起動する
- 2 CD/DVD ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 5 「プログラムの追加」ボタンをクリックし、「CD またはフロッピー」ボタンをクリック
- 6 「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 7 「<CD/DVD ドライブ名>:¥NXSETUP.EXE」と表示されていることを確認し、「完了」ボタンをクリック

**チェック**

表示されない場合は「参照」ボタンをクリックし、「<CD/DVD ドライブ名>:\\$NXSETUP.EXE」と入力し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- 8** 「NASCA」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 9** 「NASCA セットアップへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 10** 「セットアップタイプ」と表示されたら、セットアップタイプを選択して、「次へ」ボタンをクリック  
「すべて」を選択した場合は、手順 12 へ、「カスタム」を選択した場合は手順 11 へ進む

**チェック**

TPM が搭載されていない装置をお使いの場合は、「カスタム」を選択してください。

- 11** 「機能の選択」と表示されたら、インストールする機能を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 12** 「インストール準備の完了」と表示されたら、「インストール」ボタンをクリック  
インストールが始まります。
- 13** 「管理者の設定」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 14** 「パスワードの設定」画面が表示されたらパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリック
- 15** 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 16** CD/DVD ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

続いて、「4 ユーザー情報管理機能」の「認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)」(p.7)をご覧ください。使用可能な認証デバイスや認証規則の設定を行ってください。

## ■追加インストール

---

NASCA をインストールした後、インストールしていない機能を追加したい場合は、次の手順で追加インストールを行ってください。

- 1** Windows を起動する
- 2** CD/DVD ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 3** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 4** 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 5** 「NASCA」を選択し、「変更」ボタンをクリック
- 6** 「ようこそ」と表示されたら、「変更」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 7** 「機能の選択」と表示されたら、追加したい機能にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリック  
インストールが始まります。
- 8** 「メンテナンスの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 9** CD/DVD ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

## アンインストール

NASCA を全てアンインストール、または一部機能をアンインストールする場合は、次の手順を行ってください。



アンインストールは必ずコンピュータの管理者権限を持ったユーザー(ユーザー名は半角英数字)でログインして行ってください。

### ■ 全てアンインストール

- 1 Windows を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 4 「NASCA」を選択し、「削除」ボタンをクリック
- 5 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除します。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック  
アンインストールが始まります。
- 6 「アンインストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 7 Windows を再起動する

以上でアンインストールは完了です。



NASCA の機能を全てアンインストールすると FeliCa ポートを使用する他のアプリケーションが動作しなくなる場合があります。詳しくは「8 Q&A」を参照ください。

### ■ 一部機能をアンインストール

- 1 Windows を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 4 「NASCA」を選択し、「変更」ボタンをクリック
- 5 「ようこそ」画面が表示されたら、「変更」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「機能の選択」画面が表示されたら、削除したい機能のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリック  
アンインストールが始まります。
- 7 「一部の機能を削除します。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8 「メンテナンスの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 9 Windows を再起動する

以上でアンインストールは完了です。



## 4 ユーザー情報管理機能

ユーザー情報管理機能では次の情報を管理することができます。

- 認証デバイス／認証規則の管理(※)
  - 認証情報／認証規則の設定
  - 認証ポリシーの設定
- (※は NASCA 管理者のみが情報を管理することができます)

### 認証デバイス／認証規則の管理 (管理者用)

各ユーザーの認証に必要な認証デバイスや認証規則を、あらかじめ用意されたものの中からひとつ以上選択し、“使用可能な”認証デバイスや認証規則を設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「認証設定の管理(管理者用)」をクリック



NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。

認証設定の管理(管理者用)

認証デバイスの管理  
使用を許可する認証デバイスを選択してください

- FeliCa
- TPM
- USBメモリ
- 指紋センサ

認証規則の管理  
使用を許可する認証規則を選択してください

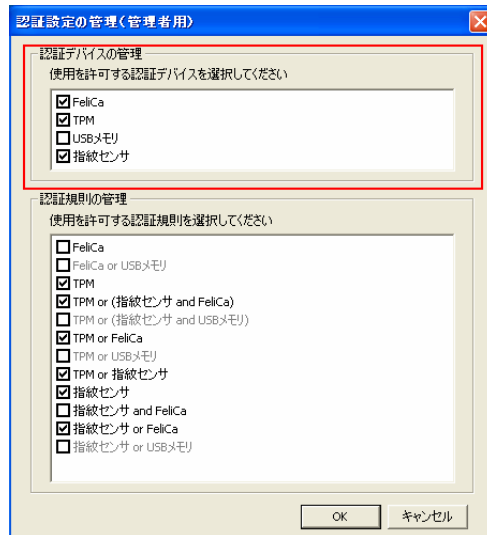
- FeliCa
- FeliCa or USBメモリ
- TPM
- TPM or (指紋センサ and FeliCa)
- TPM or (指紋センサ and USBメモリ)
- TPM or FeliCa
- TPM or USBメモリ
- TPM or 指紋センサ
- 指紋センサ
- 指紋センサ and FeliCa
- 指紋センサ or FeliCa
- 指紋センサ or USBメモリ

OK キャンセル

## ■ 認証デバイスの管理

使用可能なデバイスを選択します。

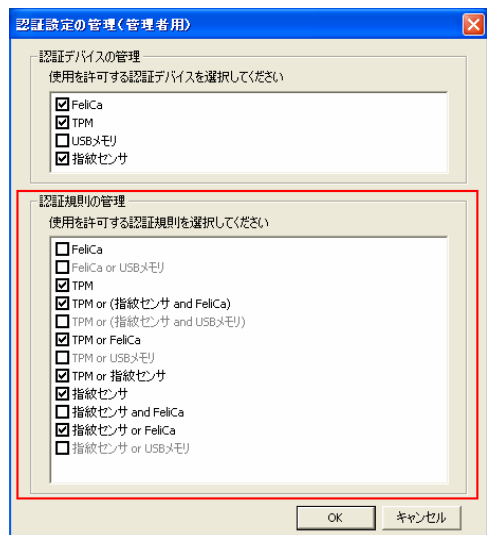
ここで選択されていないデバイスは、Windows ログオン認証画面／ユーザー認証画面で表示されません。



## ■ 認証規則の管理

使用可能な認証規則を選択します。

ここで選択した規則のみ、「認証情報／認証規則の設定」の「■ 認証規則の設定」(p. 12)で選択することができます。



### ✓ チェック

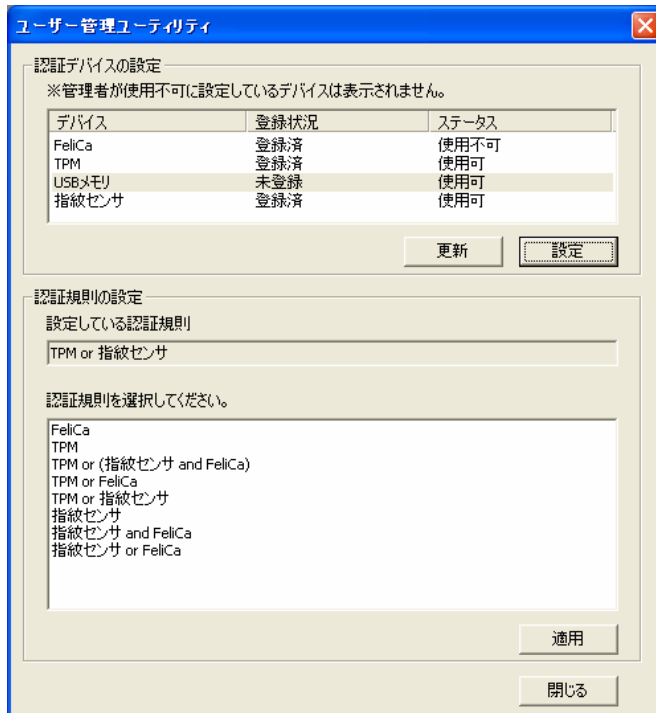
- 「■ 認証デバイスの管理」で選択されていないデバイスを含む認証規則は選択することができません。
- 既に他のユーザーが設定している認証規則を、使用可能な認証規則から外した場合、そのユーザーは認証に成功しなくなりますので、ご注意ください。

## 認証情報／認証規則の設定

認証規則の選択と、認証に必要なデバイス情報の登録をユーザー毎に行います。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「ユーザー管理ユーティリティ」をクリック

「ユーザー管理ユーティリティ」が表示されます。



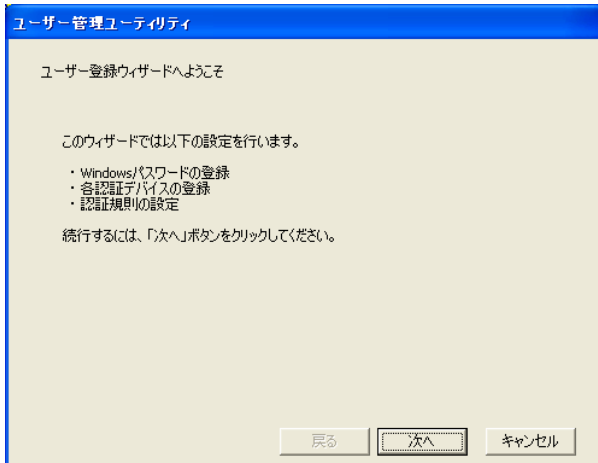
### ✓ チェック

- NASCA 管理者は「ユーザー管理ユーティリティ」を起動できません。
- 初めて「ユーザー管理ユーティリティ」を起動した場合は、「ユーザー登録ウィザード」が表示されます。「■ユーザー登録を行う」(p.10)をご覧ください、ユーザーの登録を行ってください。
- ユーザー登録完了後は、「ユーザー管理ユーティリティ」起動時にユーザー認証が必要になります。

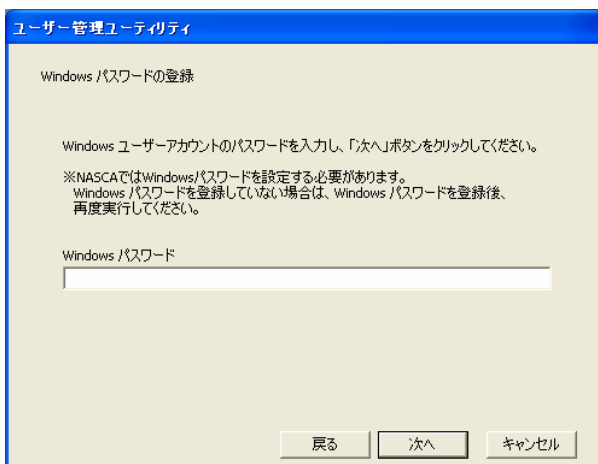
## ■ユーザー登録を行う

初めて「ユーザー管理ユーティリティ」を起動した場合、「ユーザー登録ウィザード」が表示されます。

### 1 「ユーザー登録ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



### 2 「Windows パスワードの登録」と表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック



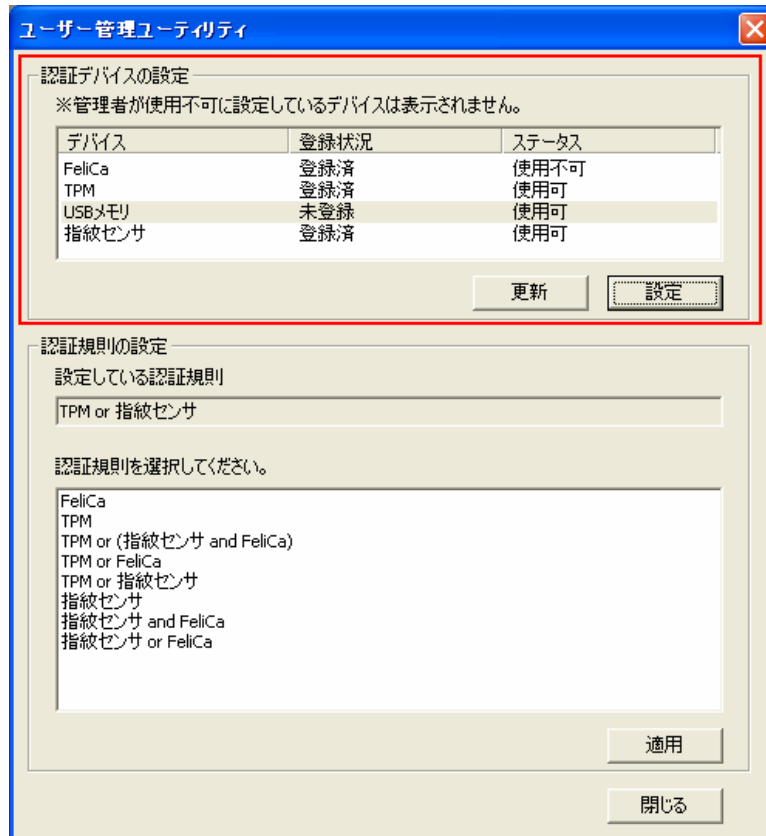
NASCA では、Windows パスワードを設定する必要があります。ユーザーの Windows パスワードが設定されていない場合は、いったん「ユーザー登録ウィザード」を閉じ、Windows パスワード設定後、再度実行してください。

引き続き、認証情報／認証規則の設定を行います。

詳細については、「■認証情報の設定」(p.11)、「■認証規則の設定」(p.12)をご覧ください。

## ■ 認証情報の設定

デバイス認証に使用するデバイスの認証情報を登録／削除／参照することができます。  
認証情報を登録したいデバイスを選択し、「設定」ボタンをクリックし、各認証デバイスの設定を行います。



### 参照

設定方法については「認証デバイスの設定方法」(p.13)をご覧ください。

### チェック

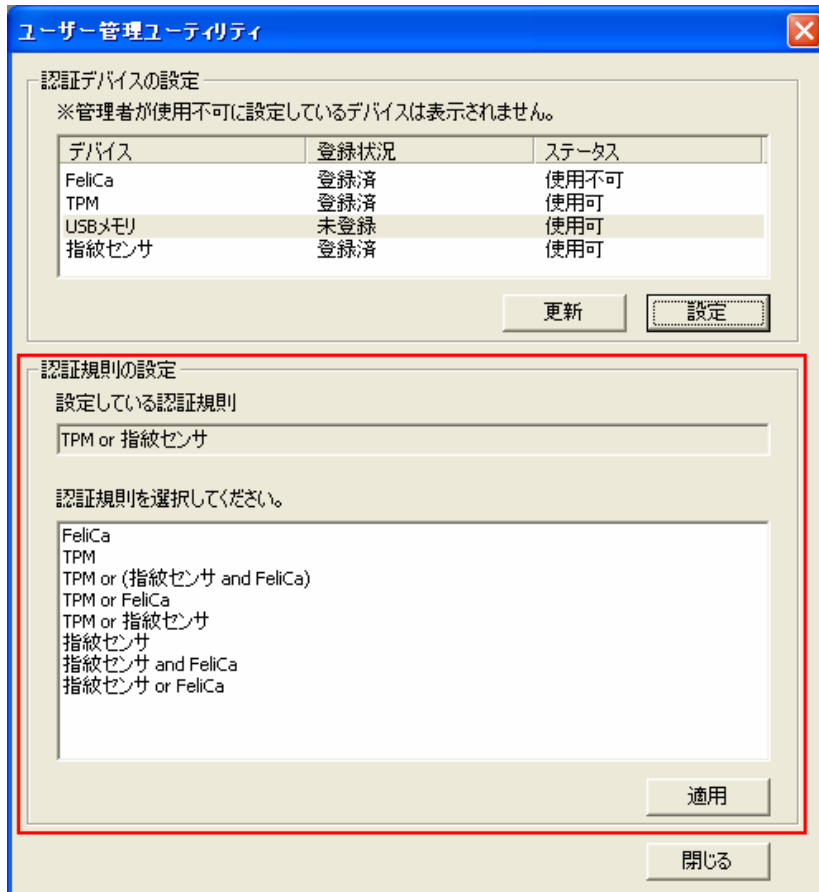
「認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)」の「■ 認証デバイスの管理」(p.8)で選択されていない認証デバイスは表示されません。

### メモ

「ステータス」欄には、デバイスの使用可否状態が表示されます。「ユーザー管理ユーティリティ」起動中にデバイスを取り外すなどして、「ステータス」欄の表示状態と実際の状態に差が生じてしまった場合は、「更新」ボタンをクリックすることで表示を最新の状態に更新することができます。

## ■ 認証規則の設定

ユーザー認証で使用する認証規則をリストから選択し、「適用」ボタンをクリックします。



### ✓ チェック

- 「■ 認証情報の設定」(p.11)で、認証情報の登録を行っていないデバイスを含む認証規則は表示されません。
- 「認証デバイス/認証規則の管理(管理者用)」の「■ 認証規則の管理」(p.8)で選択されていない認証規則は表示されません。

以上でユーザー登録は完了です。

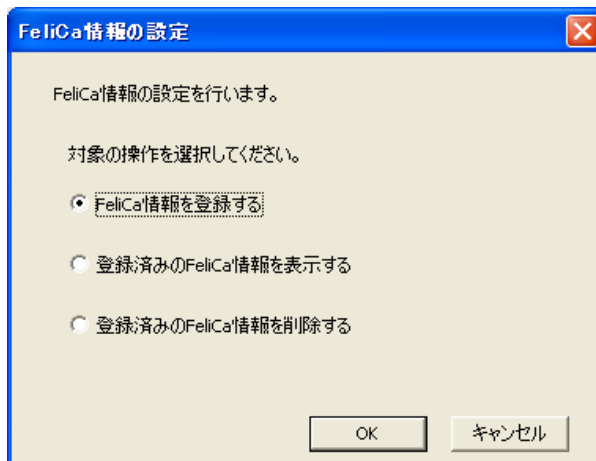
## 認証デバイスの設定方法


### ■ FeliCa 情報の設定

ユーザー毎に 1 つだけ、FeliCa 情報の登録、登録情報の表示、および削除を行うことができます。



現在 NASCA が対応しているのは、「Edy」のみです。



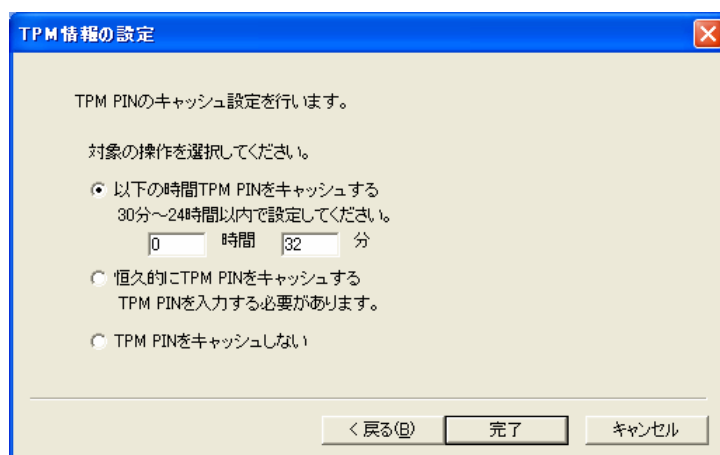
FeliCa 情報を登録する	<p>FeliCa の情報を登録します。</p>  <p>認証デバイスとして登録する FeliCa カードを、カードリーダーにかざしてください。カードが正常に認識されると、「FeliCa 情報の登録が完了しました。」と表示されます。</p>
登録済みの FeliCa 情報を表示する	登録済みの FeliCa の固有情報を表示します。
登録済みの FeliCa 情報を削除する	登録済みの FeliCa の情報を削除します。

## ■TPM 情報の設定

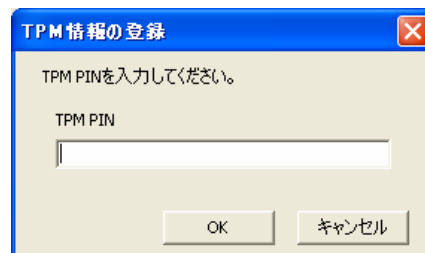
TPM PIN をキャッシュする時間の設定を行うことができます。

### メモ

TPM 認証のために入力した TPM PIN はここで設定された時間内はキャッシュ(保存)されます。TPM PIN がキャッシュされている間は、TPM 認証が自動的に行われるため、TPM によって保護されたデータにアクセスする場合でも、TPM PIN を入力する必要がなくなります。TPM によるデータの保護については、「6 Web フォームバンク機能」の「TPM 認証」(p.21)をご覧ください。



以下の時間 TPM PIN をキャッシュする	30分～24時間以内でTPM PINをキャッシュする時間を設定することができます。
恒久的に TPM PIN をキャッシュする	恒久的に TPM PIN をキャッシュします。正しい TPM PIN を入力する必要があります。
TPM PIN をキャッシュしない	TPM PIN をキャッシュしません。



### チェック

TPM PIN がキャッシュされている状態で、TPM PIN を変更した場合は、必ずキャッシュ時間の設定をし直してください。ログオフやユーザーの切り替えを行うと、キャッシュが消去される場合があります。そのような場合は、必要に応じて再度 TPM PIN の入力をするか、あらかじめ恒久的に TPM PIN をキャッシュするように設定し直してください。

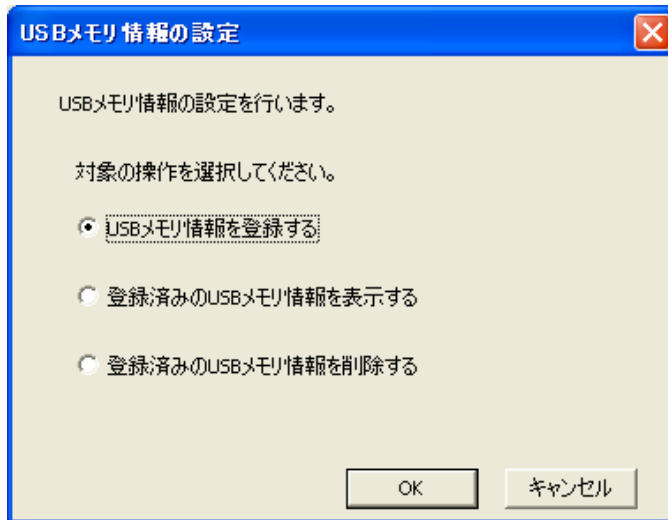


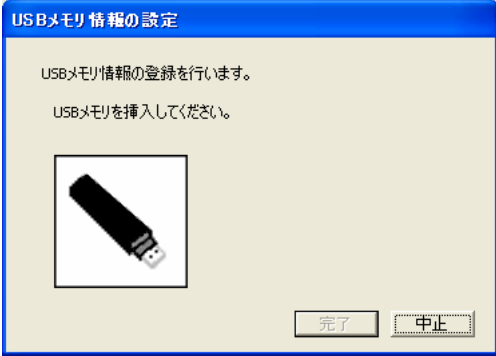
## ■ USB メモリ情報の設定

ユーザー毎に1つだけ、USBメモリ情報の登録、登録情報の表示、および削除を行うことができます。



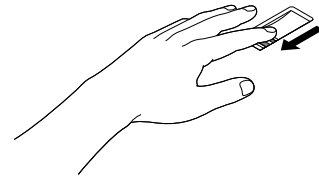
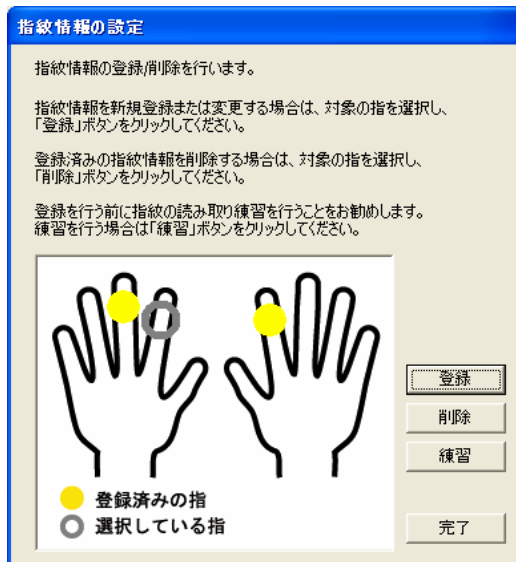
- 認証には、USBメモリの固有情報であるシリアルナンバーを利用します。シリアルナンバーを持たないUSBメモリはご利用になれません。
- USBメモリを複数接続した場合は、認証デバイスとしては正しく動作しません。



<p>USBメモリ情報を登録する</p>	<p>USBメモリの情報を登録します。</p>  <p>認証デバイスとして登録するUSBメモリをUSBポートに挿入してください。USBメモリが正常に認識されると、「USBメモリ情報の登録が完了しました。」と表示されます。</p>
<p>登録済みのUSBメモリ情報を表示する</p>	<p>登録済みのUSBメモリの情報(シリアルナンバー)を表示します。</p>
<p>登録済みのUSBメモリ情報を削除する</p>	<p>登録済みのUSBメモリの情報を削除します。</p>

## ■ 指紋情報の設定

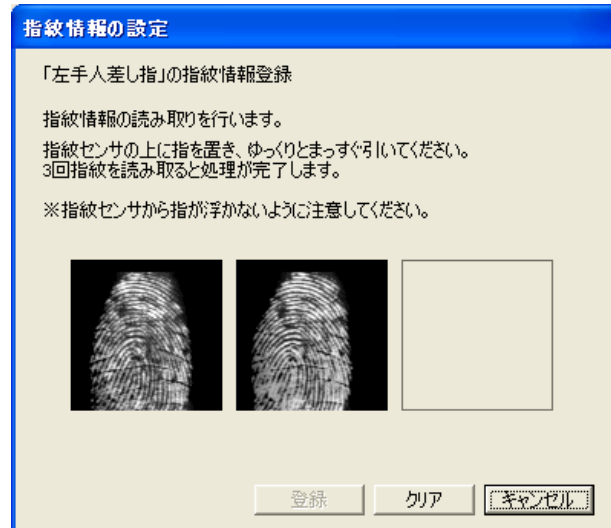
ユーザー毎に、各指の指紋情報の登録、削除を行うことができます。



※ 既に登録が完了している指は、黄色で表示されます。

登録


指紋情報の登録を行います。



指紋の読み取りを3回行います。登録する指を3回読み取らせてください。

指紋情報が正常に読み取られると「指紋情報の読み取りが完了しました。」と表示されます。

3回読み取れても、3枚の画像の中で1枚でも白くすれたような画像がある場合は、運用時の認識率低下につながる場合がありますので、「クリア」ボタンを押して登録し直してください。

削除	登録済みの指紋情報を削除します。
練習	<p>指紋の読み取りの練習を行うことができます。</p> <div data-bbox="719 322 1342 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>指紋情報の設定</b></p> <p>指紋センサの上に指を置き、ゆっくりとまっすぐ引いてください。 ※指紋センサから指が浮かないように注意してください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>読み取った指紋の画像が表示されます。</p> <p>正しく指紋が読み込まれていることを確認してください。</p> <p>やり直す場合は、「リトライ」ボタンをクリックしてください。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <input type="button" value="リトライ"/> <input type="button" value="閉じる"/> </div> </div>

### メモ

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。

次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

- ・ 汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
- ・ 極端に乾いている
- ・ 指紋が小さすぎる
- ・ 指紋が大きすぎる
- ・ 指紋が渦を巻いていない
- ・ 手が荒れている
- ・ 摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善される場合があります。

また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。

また、次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

- ・ 夏期など、汗や脂が多い場合
- ・ 冬期など、極端に乾いている場合
- ・ 手が荒れたり、けがをした場合
- ・ 急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。

すべての指が登録しにくい場合には、同じ指を複数本登録することで、照合時の不一致がおきにくくなります。

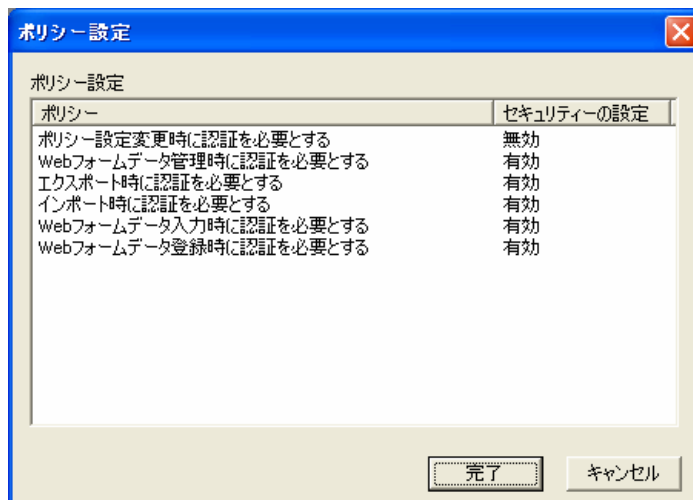
## 認証ポリシーの設定

NASCA を使用する上で、ユーザー認証を要求するタイミングをユーザー毎に設定することができます。



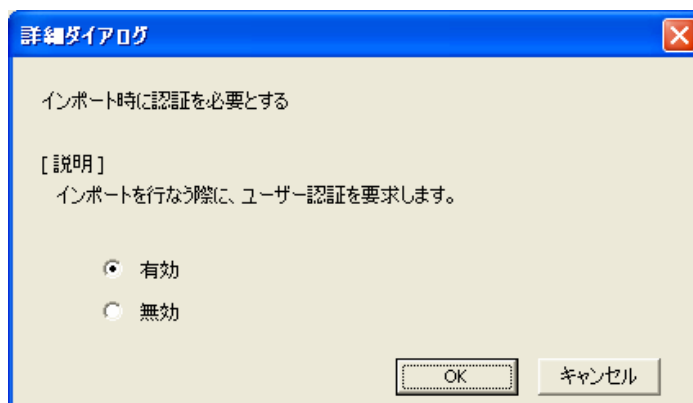
NASCA 管理者は「ポリシー設定」を起動できません。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「ポリシー設定」をクリック



設定を行うポリシーをダブルクリックしてください。

「詳細ダイアログ」が開き、設定の変更を行うことができます。



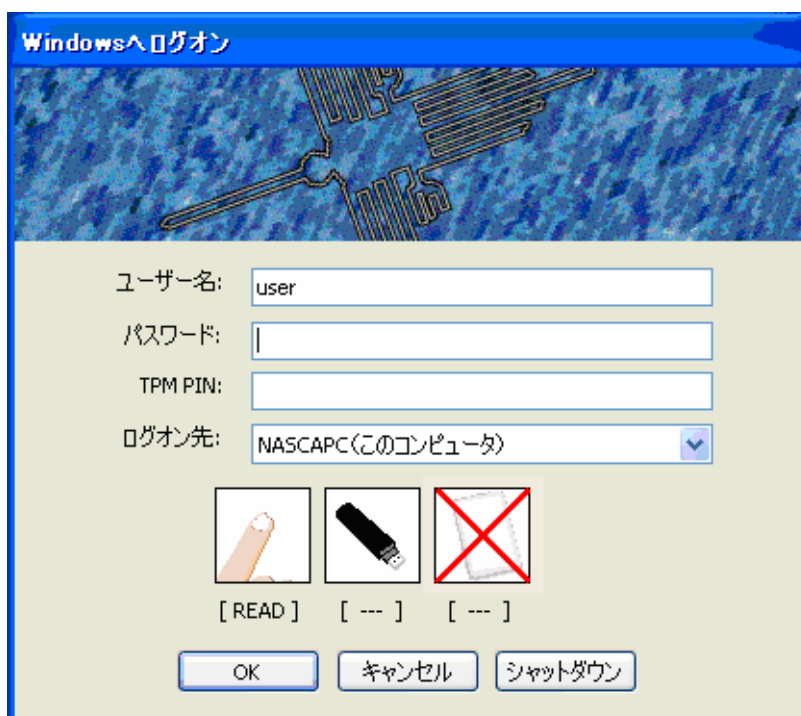
- 2 各ポリシーを設定して、「完了」ボタンをクリック

## 5 ユーザー認証機能

### Windows ログオン認証

Windows へログオンする際や、コンピュータのロックを解除する際に、様々な認証デバイスを使用することができます。

あらかじめ設定された認証規則に必要な認証情報の読み取りや、パスワードの入力が全て完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 認証デバイスからの認証情報の読み取りが完了すると、各デバイス画像の下に [READ] と表示されます。
- 認証デバイスの状態が不正な場合、デバイスの画像にXが表示されます。
- TPM を認証に使用する場合は、その他のデバイスからの認証情報の読み取りが完了したあとで、TPM PINを入力し、最後に「OK」ボタンをクリックしてください。

#### メモ

- 認証デバイスからの認証情報を読み取るには、以下の操作を行ってください。

指紋	指紋センサ上に指を置き、ゆっくりと引いてください。
USB メモリ	USB ポートに USB メモリを挿入してください。
FeliCa	FeliCa ポートに FeliCa カードをかざしてください。

- 認証に必要な情報の読み取りが全て正しく完了した場合、「OK」ボタンをクリックせずに、自動的にログオンすることができる場合があります。 認証に必要な情報の読み取りが完了しても、自動的にログオンすることができない場合は、認証情報の読み取りを再度行うか、「OK」ボタンをクリックしてください。

#### 参照

認証情報／認証規則の登録方法については、「4 ユーザー情報管理機能」(p.7)をご覧ください。

#### チェック

認証規則を設定していない場合(ユーザーの初回ログオン時含む)は Windows パスワードを入力して Windows へログオンしてください。

## ユーザー認証

ユーザー管理ユーティリティなどで、ユーザーの秘密情報(認証情報／認証規則)に関する設定を行う場合や、ポリシー設定で認証が必要とされている操作を行う際に、以下のダイアログボックスが表示され、ユーザー認証が求められます。



Windows ログオン認証と同様に、認証に必要な情報の入力や、デバイスからの情報の読み取りを行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

#### チェック

認証規則の設定が完了していない場合は、ダイアログボックス右下の「パスワード>>」ボタンをクリックした後、Windows パスワードを入力してください。

## 6 Web フォームバンク機能

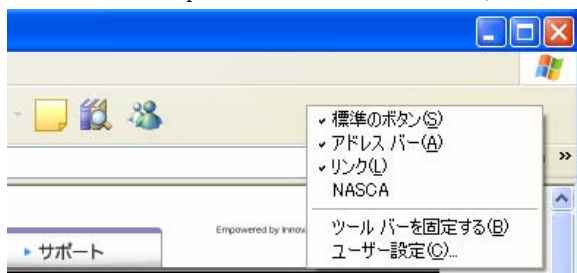
Internet Explorer に追加される以下のツールバーを使用して、表示中のページ上に存在する Web フォーム内の入力コントロールデータ(Web フォームバンクデータ)を取得し、データベースに保存、管理する機能です。

データを保存した Web ページを表示した際に、以前保存した情報を表示させることもできます。



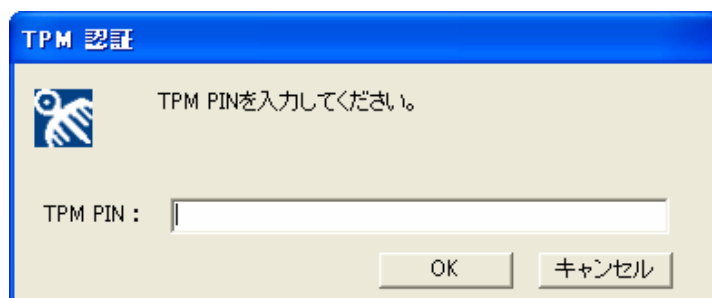
Internet Explorer に NASCA のツールバーが表示されない場合は、以下の手順で設定をおこなってください。

1. Internet Explorer を起動する。
2. Internet Explorer のツールバー上で右クリックをし、メニューから「NASCA」を選択する。



### TPM 認証

Web フォームバンク機能で管理するデータの一部は、TPM を用いた暗号化によって保護されます。TPM を用いた暗号化を行うためには、TPM 認証を行う必要があるため、Web フォームバンク機能使用中に以下のダイアログが表示される場合があります。



正しい TPM PIN を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。  
ただし TPM PIN がキャッシュされている場合は、認証は求められません。

## 参照

TPM PIN のキャッシュに関する設定方法は、「4 ユーザー情報管理機能」(p.7)をご覧ください。

## チェック

- TPM の初期化が完了していない場合や、TPM が無効になっている場合は、Web フォームバンク機能を使用することができません。あらかじめ TPM が使用可能な状態であることを確認してください。
- TPM を搭載していない装置では Web フォームバンク機能はお使いになれません。
- TPM が破損してしまった場合やクリアされてしまった場合、Web フォームバンク機能が使用できなくなってしまう場合があります。この場合でも TPM の復元を行うことによって、再度 Web フォームバンク機能が使用可能になる場合がありますので、TPM のバックアップを定期的に行うことをお勧めします。

TPM のバックアップと復元については、TPM のマニュアルをご覧ください。

## Web フォームデータ登録

Web フォームバンク機能で、以下のデータを登録することができます。

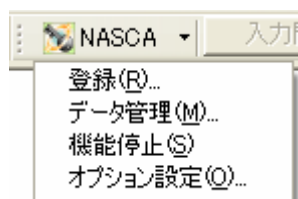
ボタン	自動的にボタンを押す設定を保存します。
テキスト	テキストデータを保存します。
パスワード	パスワードを保存します。
ラジオボタン	ラジオボタンの選択情報を保存します。
チェックボックス	チェックボックスのチェックの有無を保存します。
選択メニュー	プルダウンメニューなどを保存します。
複数行テキスト	複数行に渡るテキストデータを保存します。

以下の手順で使用する機能を選択してください。

### 1 「スタート」ボタン→「Internet Explorer」をクリック

「Internet Explorer」が表示されます。

### 2 Internet Explorer のツールバーにある「NASCA ▼」をクリック





## 登録

Internet Explorer ツールバーより「登録」メニューを選択すると、登録画面が表示されます。



登録可能な情報がない Web ページを登録することはできません。

- 1 登録するアイテム名をクリックし、「アイテム情報>>」ボタンをクリック  
「アイテム情報」が表示されます。

このページでは、常にこのデータを自動入力する	この Web ページが表示された際に、この登録情報を自動的に入力します。 1つの Web ページに対して、1つの登録情報のみ設定できます。その他の登録情報は同時に設定できません。新規に設定した場合、以前設定していた登録情報の「このページでは、常にこのデータを自動入力する」設定は無効になります。
データ入力後、送信処理を自動的に行う	登録したデータの入力完了後、データの送信処理（「OK」／「送信」ボタンのクリック等）を自動的にを行い、次の画面に進みます。

- 2 「アイテム情報」欄に必要な情報を入力する

- 3 「OK」ボタンをクリック



すでに同じ Web ページのアイテム情報を登録している場合は、上書き登録になります。複数のアイテム情報を追加登録したい場合は、「データ管理」(P.25)で登録済みアイテム情報をコピーし、編集してください。

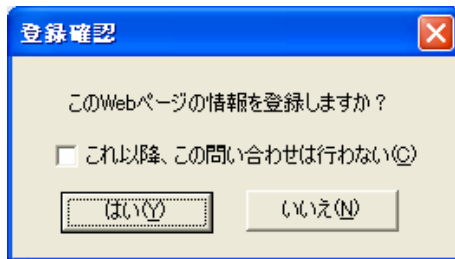
## 登録（自動登録）

自動登録機能が有効になっている場合、Internet Explorer ツールバーで「登録」メニューを選択しなくても、Web ページの登録を行うことができます。

### 参照

自動登録機能の設定方法については、「オプション設定」(p. 26) をご覧ください。

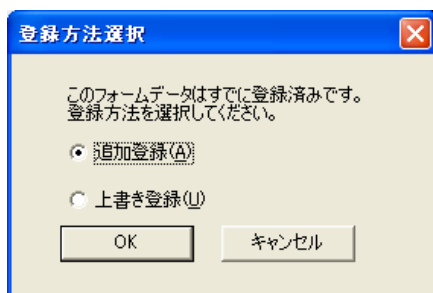
- 1 「スタート」ボタン→「Internet Explorer」をクリック  
「Internet Explorer」が表示されます。
- 2 Internet Explorer で登録したい Web ページを表示する
- 3 表示中の Web ページ内にある Web フォームに必要な情報を入力し、情報の送信を実行（「OK」「送信」などのボタンをクリック）
- 4 「登録確認」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック



### メモ

「Web フォーム登録の問い合わせを行う」オプションが有効になっていない場合、この画面は表示されません。

- 5 「登録方法選択」画面が表示されたら、「追加登録」／「上書き登録」のどちらかを選択し、「はい」ボタンをクリック



### メモ

表示中の Web ページの情報を初めて登録する場合は、この画面は表示されません。

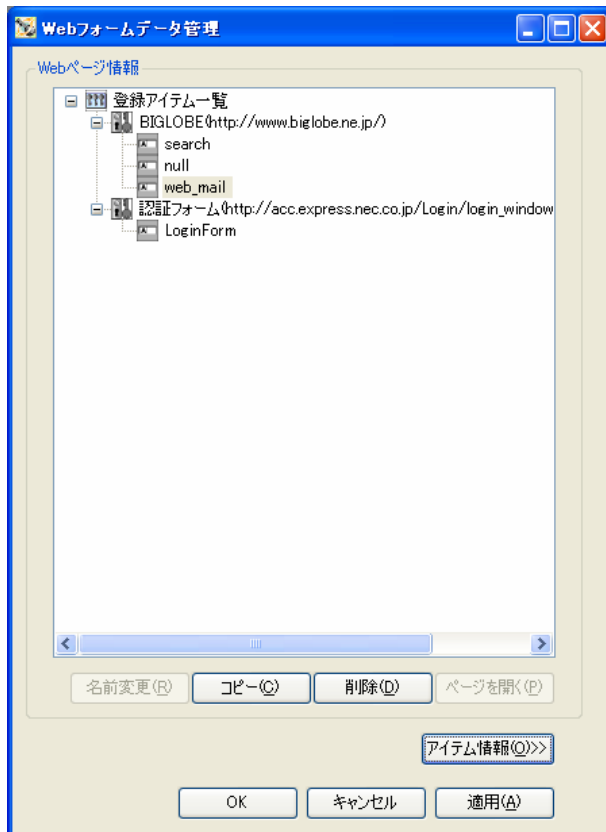
以降の手順は、「登録」(p.23) と同じです。

## データ管理

Internet Explorer ツールバーより「データ管理」メニューを選択すると、登録済みのデータの一覧が表示され、登録済みデータの名前変更、コピー、削除をすることができます。

### メモ

「Web フォームデータ管理」は「スタート」メニューからも起動させることができます。  
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「Web フォームバンク設定」をクリックしてください。



Web ページ情報はツリー構造で表示されます。

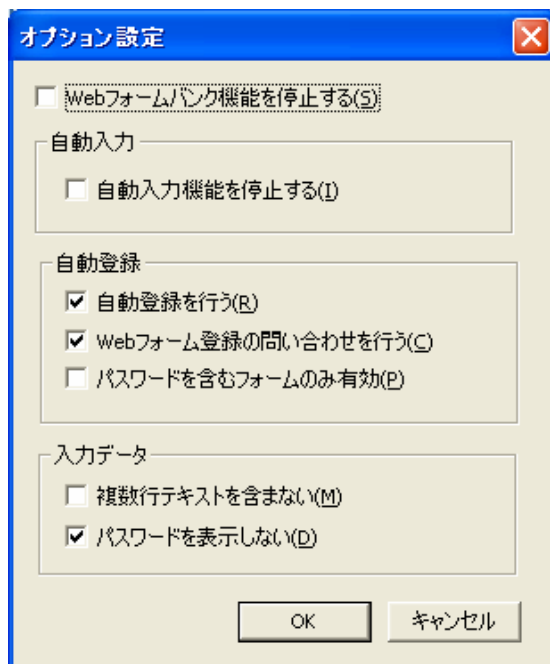
Web ページを選択時	名前変更	名前を変更します。
	削除	情報を削除します。
	ページを開く	選択した Web にアクセスします。
登録済みデータを選択時	コピー	登録済みデータをコピーします。
	削除	登録済みデータを削除します。
	アイテム情報 >>	登録したアイテム情報が表示され、内容の変更を行うことができます。

## 機能停止／機能開始

Internet Explorer ツールバーより「機能停止」または「機能開始」メニューを選択することで、自動入力、および自動登録機能の停止／開始を制御(オプション設定「Web フォームバンク機能を停止する」の有効／無効を変更)することができます。

## オプション設定

Internet Explorer ツールバーより「オプション設定」メニューを選択すると、「オプション設定」画面が表示され、Web フォームデータの自動登録等の設定を行うことができます。



Web フォームバンク機能を停止する		自動入力、および自動登録機能を停止します。
自動入力	自動入力機能を停止する	自動入力を行いません。
自動登録	自動登録を行う	Web ページ上でデータを入力し、「OK」などのボタンを押すと、入力した情報を自動的に登録できます。
	Web フォーム登録の問い合わせを行う	自動登録を行う前に、登録の続行を確認するダイアログを表示します。
	パスワードを含むフォームのみ有効	自動登録が有効な場合、パスワードを含むフォームの場合のみ、自動登録を行います。
入力データ	複数行テキストを含まない	複数行にわたるテキストを含むものは登録しません。
	パスワードを表示しない	パスワード部分を「●」で表示します。

## Web フォームデータ入力補助

### データ入力補助

---

以前登録を行った Web ページで、登録した情報を入力します。

- 1 Internet Explorer の「NASCA」ツールバーの「データ入力補助」のプルダウンメニューから登録済みの Web フォームデータを選択する



- 2 「入力開始」ボタンをクリック



プルダウンメニューには、表示している Web ページの登録済みフォーム名のみが表示されます。

### 自動入力機能

---

Web ページが表示された際に、登録済み Web フォームデータを Web ページに対して自動的に入力することができます。1 ページに対して 1 つの登録済みアイテムのみ設定できます。



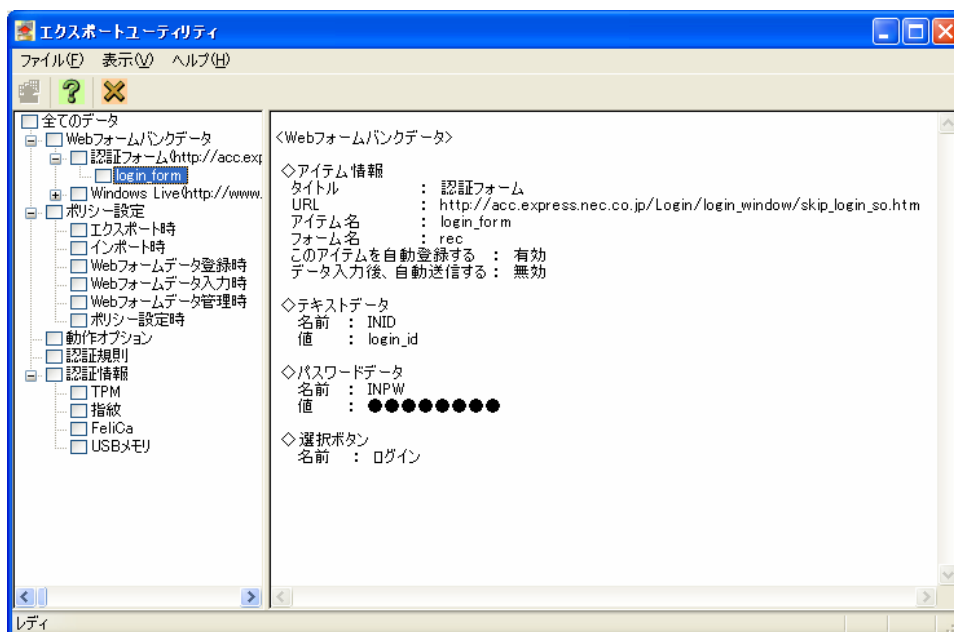
自動入力設定時でも、登録時のフォームデータの構成が変更されている場合は登録済みのデータは入力されません。

## 7 エクスポート／インポート機能

エクスポート機能では、Web フォームバンクデータやポリシー設定などの各種データをファイルに保存することができます。インポート機能では、保存した各種データをファイルから取り込むことができます。

### エクスポート

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「エクスポートユーティリティ」をクリック  
「エクスポートユーティリティ」が表示されます。



各項目の内容は次の通りです。

全てのデータ	Web フォームバンクデータ、ポリシー設定、動作オプション、認証規則、認証情報をすべてエクスポートします。
Web フォームバンクデータ	アイテム名、URL、フォーム名、説明、各コントロールのデータなど登録済みのフォームデータをエクスポートします。
ポリシー設定	ポリシー設定をエクスポートします。
動作オプション	Web フォームバンクのオプション情報をエクスポートします。
認証規則	認証規則をエクスポートします。
認証情報	認証デバイスの情報をエクスポートします。

データをエクスポートする際に、ユーザーの機密情報部分(「Web フォームバンクデータのパスワード部分」と「ユーザーの認証情報／認証規則」)を暗号化することができます。暗号化を行う場合は、復号化用のパスフレーズを設定する必要があります。

- 2 エクスポートする項目をチェックボックスで選択し、「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリック

#### メモ

- TPM PIN のキャッシュ設定が「恒久的に TPM PIN をキャッシュする」になっている場合、TPM の認証情報をエクスポートできません。

### 3 「エクスポート」画面が表示されたら、ファイル名、パスフレーズを入力し、「エクスポート」ボタンをクリック

※ データの暗号化を行わない場合は、パスフレーズを入力する必要はありません。

#### チェック

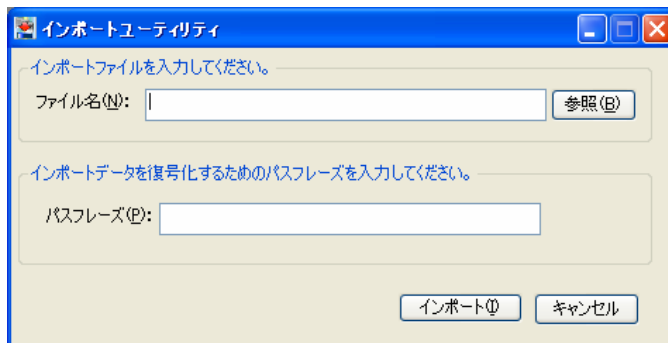
- NASCA 管理者は「エクスポートユーティリティ」を起動できません。
- パスフレーズはインポートする際に使用します。パスフレーズを正しく入力しない場合は、インポートできませんのでご注意ください。
- エクスポート処理では、セキュリティで保護された情報にアクセスするため、エクスポートユーティリティ起動時に、ユーザー認証・TPM 認証が必要となります。認証に成功していない場合、保護された情報をエクスポートすることはできません。

以上でエクスポートは完了です。

## インポート

### 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「インポートユーティリティ」をクリック

「インポートユーティリティ」が表示されます。



### 2 「インポートユーティリティ」画面が表示されたら、インポートするファイル名、パスフレーズを入力し、「インポート」ボタンをクリック

※ エクスポート時にパスフレーズを設定していない場合は、入力する必要はありません。

#### チェック

- NASCA 管理者は「インポートユーティリティ」を起動できません。
- インポート処理では、セキュリティで保護された情報にアクセスする必要があるため、ユーザー認証・TPM 認証が複数回必要となる場合があります。認証に成功していない場合、保護された情報をインポートすることはできません。

以上でインポートは完了です。

## 8 Q&A

### Q1

Windows へログオンできない(ユーザー向け)

### A1

認証デバイスの異常などにより Windows へログオンできない場合は、パスワードを入力して Windows へログオンしてください。



正しいパスワードを入力しても Windows へログオンできない場合は、管理者へ問い合わせてください。

### Q2

Windows へログオンできない(管理者向け)

### A2

設定した認証デバイス、またはパスワードを使用しても Windows へログオンできない場合は、「ユーザー初期化ツール」を使用して、認証規則を初期化してください。



- 「ユーザー初期化ツール」を使用すると認証規則が初期化されます。認証規則の初期化後は必要に応じて再設定してください。
- 「ユーザー初期化ツール」は NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「NscResetUser.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ユーザー初期化ツール」画面が表示されたら、Windows にログオンできなくなったユーザーを選択して、「OK」ボタンをクリック
- 4 「このユーザーの認証規則は消去されます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 「認証規則の消去を完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 認証規則を削除したユーザーでパスワードを入力して Windows へログオンする

Windows へログオン後、必要に応じて認証規則を再設定してください。



### Q3

Web フォームバンク機能で登録できない Web ページがある。

### A3

その Web ページの構造に関係がある可能性があります。

Web フォームバンク機能では、標準的な HTML で作成された Web ページをサポートしています。ただし、標準的な HTML で作成された Web ページにも数多くのパターンが存在しており、その Web ページの構造を正確に把握できないため、登録できない可能性があります。

### Q4

ユーザー登録ウィザードや、ユーザー認証画面で、間違った Windows パスワードを何度も入力したら、その後正しい Windows パスワードを入力しても、認証に成功しなくなりました。

### A4

これは NASCA の仕様によるものです。

何回か連続で Windows パスワード認証に失敗すると、Windows のシステム管理者が設定したポリシーによっては、アカウントがロックされてしまう場合があります。この場合はシステム管理者に連絡し、アカウントのロックを解除してもらう必要があります。

### Q5

バッテリー駆動中に休止状態・スタンバイ状態から復帰したら、正しい TPM PIN を入力してもロックが解除できなくなった。

### A5

コンピュータがバッテリー駆動中に、休止状態やスタンバイ状態から復帰すると、TPM の動作が不安定になり、TPM 認証が正常に行えなくなる場合があります。

この状態になってしまった場合、以下の方法でロックの解除をお試ください。

- Windows パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
- もう一度スタンバイ状態に移行し、AC アダプタを接続した上で、再度ロックの解除を試みる
- 管理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でロックを解除する

#### メモ

「コンピュータのロックの解除」画面からスタンバイ状態に移行する場合は、以下の操作を実行してください。

- 1 「スタンバイ」ボタンをクリック
- 2 「スタンバイ状態に移行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

## Q6

デバイス認証から Windows パスワード認証へ、認証規則を切り替える方法は？

## A6

認証規則の登録後、Windows パスワード認証(認証規則なし)に再度戻す場合は、ユーザーの認証規則を初期化する必要があります。

NASCA 管理者に連絡し、「ユーザー初期化ツール」を使用して認証規則を初期化してください。

NASCA 管理者は、以下の操作を実行してください。



「ユーザー初期化ツール」は NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「NscResetUser.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ユーザー初期化ツール」画面が表示されたら、パスワード認証に切り替えたいユーザーを選択して、「OK」ボタンをクリック
- 4 「このユーザーの認証規則は消去されます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 「認証規則の消去を完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上で認証規則の初期化は完了です。

## Q7

Windows ログオン認証時やコンピュータのロック解除時に、「パスワードの更新」という画面が表示される。

## A7

この画面は、NASCA が保持しているユーザーの Windows パスワード情報と実際のパスワード情報に差分が検出された場合に表示されます。

ドメインユーザーのパスワードがサーバー側で変更された場合などに、この画面が表示されることがあります。

この画面で正しいパスワードを入力し直してください。

## Q8

Windows ログオン認証時やコンピュータのロック解除時の画面で、全てのデバイスのアイコンに「×」が表示されてしまい、デバイス認証ができない。

## A8

NASCA に異常が発生している可能性があります。

このような状態になってしまった場合は、一度システムを再起動してください。

作業中の場合は、正しいログオンユーザー名と Windows パスワードを入力してログオンし、必要な情報の保存などを行ってからシステムを再起動してください。

## Q9

休止状態・スタンバイ状態から復帰したら、指紋や USB メモリを読み取らなくなってしまった。

## A9

コンピュータが休止状態やスタンバイ状態から復帰すると、認証デバイスの動作が不安定になり、認証情報の読み取りが正常に行えなくなる場合があります。

この状態になってしまった場合、以下の方法でロックの解除をお試しください。

- もう一度スタンバイ状態に移行し、再度ロックの解除を試みる
- NASCA 管理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でロックを解除する

### メモ

「コンピュータのロックの解除」画面からスタンバイ状態に移行する場合は、以下の操作を実行してください。

- 1 「スタンバイ」ボタンをクリック
- 2 「スタンバイ状態に移行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

## Q10

NASCA を初めてインストールするのに、「[Nasca-Admin]は既に存在します。 このユーザーを管理者として設定しますか?」と表示される。

## A10

まず NASCA をインストールするコンピュータにローカルユーザー"Nasca-Admin"が存在していないか確認してください。ローカルユーザー"Nasca-Admin"が存在していない場合は、ドメインユーザー"Nasca-Admin"が存在している可能性があります。このような場合、ドメインユーザー"Nasca-Admin"が NASCA 管理者として設定されてしまいますので、一旦インストールを中断してから、以下のいずれかの方法で対処してください。

- コンピュータをネットワークから切り離れた状態で再起動を行い、改めて NASCA をインストールする
- ドメイン管理者に連絡し、ドメインユーザー"Nasca-Admin"を削除する

## Q11

NASCA の挙動がおかしくなった。アプリケーションの起動やユーザー認証に成功しない。

## A11

NASCA の状態が不正になっている可能性があります。このような場合は、まず再起動を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、NASCA のデータベースが破損している可能性があります。「データベース診断ユーティリティ」を使用して、データベースの診断と初期化を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「NscChkDB.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3 「データベース診断ユーティリティ」画面が表示されたら、診断結果が「異常」となっているデータベースのチェックボックスをクリック
- 4 「初期化」ボタンをクリック
- 5 診断結果が「正常」になったことを確認して、「終了」ボタンをクリック

以上でデータベースの初期化は完了です。

データベースの初期化後は、必要に応じて初期化されたデータを登録し直してください。

### チェック

診断の結果、異常が検出されなかった場合やデータベースの初期化完了後も問題が解決しない場合は、NASCA 管理者理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でログオン後に同じ手順でデータベースの診断を行ってください。

### メモ

以下のような現象が起きている場合は、データベースが破損している可能性があります。

- Web フォームバンク機能を使用中に、「データベースオープンに失敗しました」と表示される
- エクスポートユーティリティ／インポートユーティリティが起動しない
- ポリシー設定機能を起動したときに、「情報の取得に失敗しました」と表示される
- ユーザー認証画面で、全デバイスのアイコンが表示されない。または全て「×」が表示されてしまう
- 「Windows へログオン」画面、「コンピュータのロックの解除」画面での認証中にパスワードの更新を要求されるが、パスワードの更新に成功しない

## Q12

NASCAの機能を全てアンインストールしたら、FeliCaポートを使用する他のアプリケーションでFeliCaポートが使用できなくなってしまう。

## A12

NASCAの機能を全てアンインストールする前に、対象のアプリケーションのマニュアルを参照し、FeliCaポートを使用する他のアプリケーションとの共存に関する注意事項が記載されているかを確認してからアンインストールを行ってください。

もしFeliCaポートが使用できなくなってしまった場合は、以下のいずれかの方法を試みてください。

- 対象のアプリケーションのマニュアルを参照し、FeliCaポート復旧の手段が記載されていれば、その手順に従い復旧を行う
- 「FeliCa Port Software」がインストールされている場合は、一旦アンインストールしてから再インストールを行う

いずれの手段でも復旧できなかった場合は、対象のアプリケーションを再インストールする必要がある場合があります。